

ふるさと切手は 平成初期発行が面白い！

[榎澤 祐一] 2

カラー連載

郵趣風土記〜マテリアルでたどる地域郵便史〜⑩ [板橋 祐己]

戦後統一型で有名な愛媛・松前郵便局 8

封書10円時期の“記念・特殊切手”の楽しみ！⑦ [横山 裕三]

「グラビア切手の製造工程と定常変種」..... 10

カラー版 魚木式郵趣⑦ [魚木 五夫]

鑑賞中心の原則(2) 12

押さえておきたい“日本切手の壺”④ [山口 充]

日光発の外国郵便 16

カラートピック

新発見！ 中型年号4字印「新潟」 [山田 廉一 & 山口 充] 1

フランス最初の切手「セレス」の復刻切手 [佐伯 誠] ... 14

トピック

支部&団体活動より 野田醤油(現キッコーマン)初代社長
茂木兵三郎の手紙 [城北郵趣会 会長 濱谷 彰彦] 41

連載

著名人の手紙 ①⑥ [新垣 千尋]

俳人 中村汀女 31

郵趣家の書斎 〜さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて⑩ [佐伯 幸一]

羽賀正雄さん〜「森林」をライフワークに〜 32

切手女子流「切手の楽しみ方」② [ばば ちえ]

葉っぱの会を仙台で開催！ 34

JPS研究会発信！ ここに注目！ 収集のポイント②

郵便局で発券されたメータースタンプ

[山来 勝/メータースタンプ研究会] 36

軍事郵便収集の魅力⑦ [玉木 淳一]

日中戦争〈3〉1937-45 38

今月のミニベックス〜みどころ紹介〜⑥

第14回世界の植物切手展 39

風景印ピックアップ⑥

局名に「昭和」が入った風景印 40

丸ごと！ 世界新切手ニュース(68 カ国776種を掲載)

編集部おススメ！ 話題の新切手から ⑬③ 49

ワールドスタンプナウ ②④⑩ [堀山 哲太郎]

掲載が始まった2025大阪・関西万博記念 50

『ビジュアル版』(図版ページ) 52

『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

7月のイベント・スケジュール 18

日本新切手ニュース：「伝建制度創設50周年」「海のいきものシリーズ」第9集 ほか 20

郵趣の目・国内情報：北海道東川町でオリジナルレターバックライト試行販売 ほか 25

郵趣の目・海外情報：無額面以外の額面で発行される英国記念切手の最終発行 ほか 27

切手の博物館ニュース：「宇宙フロンティア」展、きて★みて★きて2025 ほか 29

読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

全国郵趣大会2025 in 長崎 開催案内/第46回中島健蔵・水原明窗賞受賞者 75

JAPEX2025寄附金募集 76

JAPEX2025出品募集 77

研究会一覧/研究会・支部定例会 78

ゆうびん de 自由研究・作品コンテスト2025案内/開催録/次号予告 ほか ... 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

日次 2025 7 月号

[Whole No.917] Vol.79 No.7

郵趣

巻頭言

支部報・郵趣文献の可能性

日本郵趣協会の活動が全国に根ざし日本中で郵趣が楽しめるのは、支部活動によるところが大きいです。支部例会や各地での郵趣イベントなど、多くの活動に感謝をしています。その様子は支部報にまとめられて協会本部に届けられ、そのすべてに目を通してしています。

先日、ある支部報を読んでいると、ひとつの記事に目が留まりました。その記事には以下の内容が書かれていました。残念ながらご高齢で亡くなられた支部員のご子息から、お父様(支部員)に届けられる支部報をご子息夫婦で楽しみに読まれていたので、これからも支部報が読めないかと相談を受けたとのこと。その支部では、ご子息に「購読会員」という形で入会いただいたそうです。ご子息夫妻は支部報を読みながら、お父様が楽しまれた郵趣をこれからも楽しめられるのだと思います。

これまで私は、支部報は支部員や、または支部報交換先の支部の方が読まれるものと思っていました。ですが、今回の記事を読み、支部報や郵趣文献にはもっと可能性があると感じさせられました。これらを通じて、郵趣家でない方にも郵趣を理解してもらい、楽しんでいただける可能性があるのです。郵便の発展は歴史の一要素ですし、切手を通じて世界情勢や社会情勢を知ることもできます。郵趣には誰にでも楽しめる要素が詰まっています。家族や知人に支部報や郵趣文献を読んでいただくことで郵趣への理解がひろがり、将来の郵趣家につながるかもしれないと思いました。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

コヴァチツァ村の芸術(62・71㌔)は、スロバキア系民族を中心に1930年頃から発展しました。正規の美術教育を受けていない農民や職人たちが描くナイーブアートは、身近な暮らしや風景を感情豊かに表現する、鮮やかな色彩が魅力です。遠近法に縛られず、物語性に富んだ細密な画風は「童画」とも呼ばれます。切手は凹版と平版で表現されています。